



セカンドライフ講座(沼津)

平成30年度沼津市社会福祉協議会主催「セカンドライフ講座」第五回が7月3日千本プラザB1「海」にて開催された。

平成27年度「夢ある人づくり塾」を受講し、その後自分たちの居場所づくりを始めて3年、今は高齢者のセカンドライフを応援するまでに至る仲間たちの活動紹介取材した。



セカンドライフ講座(沼津)

グループ名は「DSプエルト」、代表世話役の渡辺茂樹さんは「夢を語り、情報を交換しながら自分のやりたいことに気付こう!」を合言葉に活動していますと始め、「私たちは体力や老後の不安もあるが、仲間と一緒に楽しく人生を送りたい。沼津のために何かしたい、地域のお役にたたい。」と今後の抱負を話した。



セカンドライフ講座(沼津)

現役時代はプラント設計で海外出張が多く、行先で世界遺産を描き、退職後は趣味で絵を描きつけている岩崎君男さんはセミナーに参加し、今の自分に出来ることを考え、絵手紙・透明水彩画教室を20名の仲間と楽しく継続し2年が経過した。去年よりケアハウスでの絵手紙教室を開催、生徒は5名、80～90歳代です。



セカンドライフ講座(沼津)

新潟で65歳退職を迎え、沼津に来て3年の吉田一男さんは、自分のセカンドライフの生きがい探し、自分の居場所づくりを考えセミナーに参加し、今の仲間と出会い、語り、自分の居場所を発見した。おもちゃ病院・ノルディックウォークのボランティア活動は自分の生きがいになまっている。



セカンドライフ講座(沼津)

長野で65歳退職を迎えて、沼津に来て3年の蜂谷幸雄さんは、体が動く限りは働きたいと考えているので、機会を得て時々働いている。同年代の人は何を考え行動しているのか不安に感じていた時に、セミナーに参加し今の仲間と会い、自分の居場所・やりたい事などを考えいろんなことに興味を持ち行動するうちに、現役時代には考えられないいろんな体験を重ねて、今自分なりに楽しい毎日を過ごしています。山歩き「巨木巡り」は面白い!



セカンドライフ講座(沼津)

福祉の世界に身を置き8年の井上正好さんは、昨年は自治会で「サロン」の開催に尽力し、健康づくり・生活支援・社会参加を促す工夫で「誰もがすみなれたまちで いつまでも心豊かに」をスローガンに小地域福祉活動に取り組まれた実施報告を熱く語り、今後も地域福祉の「見える化」を推進していきたいと抱負を話した。

最後に、発表者全員が口にした「夢ある人づくり塾」で講師原田先生より学んだ「3個のこ」は、みんなの共通認識であることが分かった。第二の人生を自分らしく生き活きと生きるには、「行動」こそが未来を変える。自分だけで考えない「コミュニケーション」の大切さ、「好奇心」さえあれば人は老いない。今後も楽しく、無理せず、仲間と一緒に活動を続けて欲しい。

生きがい特派員
沼津・北駿担当 福田和男